

トピックス

環境大臣表彰

「ふるさとの川・荒川づくり協議会」が令和4年6月17日に環境大臣表彰を受賞しました。これは地域の環境保全に貢献したことが評価されたもので、佐々木会長が福島市役所にて受賞してまいりました。これからも荒川の環境保全のために尽力してまいります。



荒川の水質日本一12年連続

福島市を流れる「一級河川・荒川」が、12年連続で水質日本一に選ばれました。10年以上連続しての選出は、本州では唯一、全国でも2河川のみです。

荒川は吾妻連峰高山の鳥子平に源を発し、一切経山や東吾妻山、鉄山といった福島盆地西側の山々を水源とする支流と合流しながら、福島市御倉町で阿武隈川に合流する全長29.7kmの河川です。下流約13kmは国の一級河川でそれより上流部は国の火山砂防に指定されています。名の通り、昔から暴れ川としての歴史もありましたが、現在はその歴史的河川施設が荒川流域治水・砂防事業として2007年度土木学会選奨土木遺産に指定されております。

荒川クリーンアップ大作戦

第1回 6月25日(土)・第2回 10月1日(土)

河川環境を守る SDGsにつながる活動

荒川クリーンアップ大作戦は荒川流域の環境保全活動の一環として、多くの市民が荒川の自然景観や散策を安心して楽しみ、この優れた水環境を守り次世代に継承していくことを目的に、荒川を管理する国土交通省、福島市、荒川に関わる団体、地元の企業や町内会のご協力のもと、信夫橋から荒川大暗渠砂防堰堤の延長約13Kmで大規模な清掃活動を行っています。

第1回は61団体601名、第2回は66団体635名の清掃活動に参加いただきました。第2回は福島東高生徒の参加もあり、荒川

が水質日本一を12年連続で達成できたのも、世代を超えた多くの方々の努力と協力のおかげです。本年もこの活動を通じ水質日本一を継続できるよう、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



令和4年度
主催・共催事業から こんな活動をしています！

河川パトロール(5月～3月)

外来植物調査 10月4日(火)

本事業は、国土交通省福島河川国道事務所の委託事業で、定期的に結果報告をしています。河川パトロールは、5月から3月まで荒川上流の小富士橋から下流の信夫橋まで、河川施設損傷の有無、不法投棄、河川利用状況の確認など、左岸右岸交互に実施しています。きれいな河川環境の保全に皆様のご協力をお願いします。外来植物調査は年1回、荒川流域の八木田橋から信夫橋までのアレチウリとセイタカアワダチソウの繁茂状況を調査し、地図記入と写真撮影をしています。これからも河川環境を注意して見守っていきます。



水質・植物調査

9月24日(土)

本調査は毎年2回、荒川桜づみ河川敷、荒川橋右岸、地蔵原堰堤周辺の三か所で実施しています。7月は悪天候のため中止、9月は植物調査を行いました。目視調査ですが、アレチウリやセイタカアワダチソウの外来植物が目につきました。



河川浄化作業「小富士橋堤防の草刈り」

6月21日(火)・9月27日(火)

河川浄化の一環として毎年、小富士橋右岸の除草作業を実施しています。小富士橋右岸周辺は、水林自然林に隣接し、先人が残した江戸時代の霞堤をはじめ、土木遺産の地蔵原堰堤に向かう入口にあたる場所です。景観を楽しみながらリフレッシュする方々を多く見かけます。地道な環境保全活動は荒川流域の魅力アップにつながっています。

荒川桜並木の手入れ

令和5年2月26日(日)

荒川のさくら橋上流にある桜は平成12年に荒川千本桜として植栽し、大きな樹木に成長しました。この桜の樹形を整えるため、環境保全活動の一環として協議会の皆さん8名で剪定作業を行いました。今年もきれいな花を咲かせてくれることでしょう。



あらかわ自然楽校

「あらかわ歴史探訪会」
6月4日(土)



講師及び案内は日本考古学協会会員の柴田俊彰氏にお願いし、荒川下流域の八木田橋からあづま橋、信夫橋までの歴史を訪ね歩きました。今回は、旧信夫橋を撤去する際に、個人宅に保存された橋脚部の「亀の彫刻」も特別に観させていただきました。参加者17名の中には、荒川に興味を持った東京大学大学院生も特別参加してくれました。

「荒川の秘境・天沼のへつり探訪会」
10月29日(土)

「天沼のへつり」とは、土湯温泉から直線1kmほど下流の荒川(地先名が天沼)に位置し、溪谷部分が荒川の流れにより削られ、美しい断崖になっている箇所です。今回はコロナ禍等諸般の都合により、3年ぶりの開催となりました。

参加者は会員、一般合わせて17名、午前9時に荒川資料室を出発し、荒川の砂防堰堤群や奇岩さざれ石を観ながら、その道程は荒川の溪流を幾度となく渡り、大きな石の上を歩く難所の連続ですが、今年は水量も比較的少なく、全員無事に天沼のへつりを観ることができました。



荒川を知る・荒川から学ぶ

学習会「荒川流域の治水と水防を学ぶ」
5月23日(月)

「ふくしま100の会」の学習会が荒川資料室で開かれ、講師の佐々木会長から「治水と水防」について学びました。次に、朝ドラ「エール」のロケ地・水林自然林に移動、17名の参加者はドラマの主演に思いをはせながら散策、コロナも吹き飛ばす爽やかな一日となりました。



「三河台小学校出前講座」 7月6日(水)

荒川の自然環境を勉強している三河台小学校4年生54人に、荒川クリーンアップ大作戦の大切さをお話してきました。子供たちは、荒川の水質や生物に興味津々で、時間ギリギリまでたくさん質問してくれました。この子供たちのためにも荒川の環境を守ってやりたいですね。

「サマーショートボランティアスクール」に協力
7月19日～8月12日
ゴミ拾いからSDGs・ESDを学ぶ！

福島市社会福祉協議会主催の「第31回サマーショートボランティアスクール」に参加協力しました。開講式では当協議会活動を対面で紹介した後、期間中延べ2日間、市内の高校生・大学生4名が会場の荒川桜づみ河川公園を中心に体験活動を行いました。本協議会会員から、荒川の自然・歴史やボランティア活動について説明したほか、学生たちと一緒に荒川河川敷のゴミ拾い・清掃活動を行い、その後反省・懇談を行いました。意欲的な高校生・大学生の姿に感動しつつ、持続可能な社会の創り手の育成に少しでもつながればと願っています。

あらかわ・ふるさとの川ウォーキングに参加協力
6月5日(日)

緑美しい快晴の日、「あらかわ・ふるさとの川ウォーキング」が開催され、当協議会会員も参加協力し、荒川流域の魅力や環境保全の大切さを伝えるなど大会の支援を行いました。参加者は市内外から約650名と盛況で、水質日本一12年連続の荒川を眺めながらのウォーキングは健康増進にもつながります。コースには土木遺産も多数あり、地元中学生が熱心に説明する姿が印象的でした。



夏休み「親子自然観察会」

7月23日(土)

吉井田学習センター主催「親子自然観察会」(当協議会の共催)は、桜づみ河川公園で行われ、小学生19名含む親子35名が参加しました。当日は晴天に恵まれ、古荒川に入り、水生生物の採取と観察、水質調査を行いました。環境を学ぶ親子に感動し、子供たちからは来年も参加したいとの声が多く聞かれました。

道の駅「ふくしま」で活動紹介

10月2日(日)

福島市社会福祉協議会主催「第33回ふれあい広場」が道の駅「ふくしま」で開催され、当協議会の活動や荒川流域の土木遺産等のパネルを展示しました。市内外の多くの来場者でにぎわい、水質日本一12年連続の清流・荒川を改めて認識した一日となりました。



人と環境、景観の共生を目指して



渋谷建設株式会社

代表取締役 渋谷 浩一

〒969-1651 福島県伊達郡桑折町大字万正寺字妻田2-3
TEL 024-582-2315 FAX 024-582-6443

地域社会とともに 安全・技術・誠実



多田建設株式会社

代表取締役 多田 恵造

本社／〒960-0102 福島市鎌田字中森山1-1
TEL (024) 535-6161 FAX (024) 533-4712
伊達支店／〒960-0673 伊達市保原町字野崎20-2
TEL (024) 575-5333 FAX (024) 575-5370
URL <https://www.tada-kensetsu.com/>



大型五面
加工機導入

(テーブルサイズ3,000mm×8,000mm)

郷土の発展に貢献する鉄道車両、各種クレーン、産業機械、橋梁、水門の総合メーカー

KYOSAN 協三工業株式会社

代表取締役社長 加藤 守

本社・工場/福島市佐倉下字光寿院前1-1 TEL024-593-4901
東京営業所/東京都千代田区九段南3-8-10 TEL03-6261-7401
ISO 9001・14001 <http://www.kyosankogyo.co.jp> soumu@kyosankogyo.co.jp

川をきれいに。水を大切に。緑豊かな自然と共に。



株式会社 渡辺土木

代表取締役 渡辺 兼光

〒960-8166 福島市仁井田字前林川原2-8
TEL 024-535-5175 FAX 024-533-8021